

令和5年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 鳴 滝 小 学校
校長氏名	藪本 みゆき
作成日	令和 6年 1月 4日

1 教育目標

最後まであきらめずによく考え、感謝の気持ちを忘れず、心身共に健やかな子供の育成 ～知育・徳育・体育のバランスを大切にした生きる力を培うことを目指して～
--

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・全国学力・学習状況調査や県学習到達度調査で正當数の県平均値を上回る ・児童がわかる授業、児童主体の授業を実践する(教員90%以上)	・学校が「楽しい」と感じる(児童90%以上) ・「ルールやマナーを守って授業を受けることができた」(児童80%以上)	・毎日、朝ごはんを食べてくる(児童90%以上) ・体力テストの平均値を県平均以上を目指す	・保護者アンケート「子供の活動の様子をわかりやすく伝えている」(保護者90%以上) ・地域への情報発信が行えた(保護者90%以上・地域の方等の声)
重点目標【P】	◎基礎・基本の確かな学力 ◎児童主体の授業の推進 ○家庭学習の定着 ○読書活動の推進	◎人権教育を推進すると共に、人権意識の高揚に努める ◎道徳教育を柱とした教育活動の充実	◎基本的生活習慣の確立 ◎体力向上の推進 ○危機回避能力の育成 ○人間の体を知る	◎地域の教育資源や人材を活用しながら交流活動を行う ○「学校だより」やホームページでの情報発信を継続 ○地域の養護施設を知る
取組の状況【D】	○「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の徹底を図る ○「昼学」の時間をしっかり活用し、基礎学力の定着を図る ○自分の考えを発表できる授業づくりを目指す ○保護者の協力のもと家庭学習の定着を図る ○必ず「なるたきタイム」の時間を確保し、読書を習慣づける	○保護者と児童のよさを共有しながら児童を心豊かに育てる ○「特別の教科 道徳」で児童が考え話し合う活動を大切にする ○いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める ○情報モラルやネット社会に潜む危険についての指導を促進する ○各行事において児童が主体的に関わる機会をもつ	○「早寝・早起き・朝ごはん」の推奨 ○体育科での活動時間を多く取り入れられるように工夫する ○縦割りグループでの運動を計画的に実施する ○避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する ○「保健」の教科学習や保健行事を行うなかで、自分の体について知る	○児童の少しでも良い様子を保護者に伝え、保護者の子育てや教育に対する意識を高める ○地域の方々と一緒に花を育てる活動を通して環境整備に促進する ○地域活動に参加し地域との交流を促進する ○地域の養護施設を見学し、実態を把握する ○「学校だより」を地域回覧すると共に児童の活動様子をホームページで発信する
取組の成果と課題（評価結果）【C】	・6年生の全国学力・学習状況調査は県・全国平均値を上回ることができたことから基礎、基本の学習は定着できていると考える。 ・国語科は全国よりも12ポイントも上回るという結果であった。しかし、記述問題で複数の条件に合わせて正確に書く力が弱く、指定字数内に文章化して書くことが苦手である。 ・算数科は全国よりも2ポイント上回ったが、百分率の意味や正三角形の性質、三角形の「高さ」の概念が理解できていなかった。	・人権学習を児童と保護者と地域の方々と一緒にやったことで、保護者にもわかりやすい内容となり、子育てを振り返ってくれていた。児童と保護者が内容を共有でき、家庭でも話し合え、よい時間をもてたと思われる。 ・放課後の出来事ではあったが、保護者からの「いじめ情報に敏感に動き、生活指導主任を中心に関わりのある教員で対応することができた。」「いじめ」という感覚なく遊びの一環として行われていたが「いじめ」になることを指導し、以後は友達の違いがなくなった。 ・全児童23人であり、ファミリー活動(縦割り活動)で、上学年が下学年に優しく接し、下学年は上学年の背中を見て育ち、自然と人権感覚が養われていっている。 ・運動会の内容を5、6年生に考えさせ、司会も5、6年生で担当できた。 ・「ありがとう委員会」について考えるとき、教員から何も指示を出さなくても高学年から主体的に考え動いていた。	・児童は、大、昼休みに暑くても寒くても運動場で遊べる時は元気外遊びをし、体育委員会からも放送で常に呼び掛けられている。 ・ファミリー活動(縦割り活動)で月1回運動場や体育館で運動する時間を設定している。 ・避難訓練を毎学期想定を変えて行った。児童は真剣な思いで取り組んでいた。その際、津波三原則の学習も行った。 ・避難訓練では最終的に運動場に避難し、安全確認や人数確認等をするが、建物が崩壊している場合、運動場からの逃げ場がないことに不安を感じる。	・「学校だより」を地域の回覧で発信していることを続けさせていた。いた。 ・ホームページでも学校、児童の様子を発信している。 ・5、6年生が『鳴滝小学校クイズ』を作成し、「ふれあいお食事会」で地域の方々と交流させていた。 ・「有効は一つ」の名のもとに「ふれあいまつり」にも児童の作品を展示させてもらったり、当日児童が遊ばせてもらったりした。 ・2月の「減災教育」は地域、保護者、児童、教職員が参加し、学習すると共に交流する。
改善方法【A】	・「児童がわかる授業・児童が主体的な授業実践」については教員89%であった。「意欲的に授業を受けることができた」児童91%であった。教員が自信をもって授業をすることが大切である ・新たな教育目標に向かって、継続して教職員が同じ目標や思いで取り組んでいきたい ・今年度は和歌山ラジオ主催の「わたしの作文」に応募に取り組んだ。ラジオで作文を放送された児童もいる。ICTの発達により、「書く」ことが置き去りにされないように継続して取り組んでいきたい ・家庭学習は保護者の協力が必要である。入学説明会や入学式で説明し、1年生から習慣づけができるようにしていきたい	・「学校が楽しいと感じる」低学年は100%、中高学年は95%という結果であり、児童主体の学校になっていることが分かる。継続していきたい ・「ルールやマナーを守って授業を受けることができた」と答えた児童は96%あり、意識付けを継続していきたい ・「学校だより」でスマートフォン等高価なものを持たせることの責任と、それを使用することによって起こる様々なトラブルについてもしっかりと責任をもってもらえるように啓発を行った。継続していきたい ・児童にとって保護者が一番であるため、家庭で価値のつけ方や児童との話し合いをきちんとしていただけるように啓発していくと共に、学校としてできることを保護者と話し合いながら行っていきたい	・朝ごはんについては2人が食べていない。啓発を続け、児童にも意識付けしていきたい ・運動会の午前中開催については全国的な流れであると共に本校では23人という児童の中で、午前中開催が好ましい。体育科の教科としての授業が運動会練習のために圧迫されていることや、ファミリー活動(縦割り活動)で取り組んだものを種目として取り入れているため、運動会の練習に時間をかけずきることのないように継続していきたい。 ・ファミリー活動で月1回体を動かす遊びや体育的要素のあるものに取り組んでいる。児童も様々な運動に携われ生涯健康のための選択肢も増える。 ・運動会練習中と当日の熱中症対策としても午前中開催が望ましく、また、10月の第3開催が定期的にもよかったのではないかとと思われるため、来年度もそのようにしたい	・地域の方に今後も継続して学校に関わっていただきたい ・学校開放月間や授業参観時だけでなく、保護者や地域の方々に自由に訪問していただきたい ・コロナが令和5年5月に2類相当から5類になったことから、様々な制約がなくなった。しかしコロナがなくなったわけではないため、今までのように敏感すぎる対応はしないまでも、継続して注意していきたい ・保護者アンケート「子供の活動の様子をわかりやすく伝えている」86%という結果であった。立場は違っても児童への思いは同じである。地域、保護者、学校が協力していきたい ・養護施設については施設の方が来られて、説明を受けることができた。見学をさせていただいたら、と思っている

3 その他の課題

・児童数が少ない中でも、できることをできるような形でやろうと、11月の休日参観に「ありがとう集会」を計画し、地域の方々を招待して行うことができた。ただ少人数のため、できることが限られてしまうと共に集会だけではすぐに終了してしまうため、人権講演会や公民館事業普及活動も加えた。児童も大人も巻き込んで行えたことで喜んでいただけたと思うが、様々なことを取り入れていかなければ成立しないことが課題である。学校運営委員会の方々のお知恵を拝借したい。 ・児童の生きる力を育むために運動会を5、6年生で考えさせ、司会も行ったことで、「ありがとう集会」に取り組むときには児童から動くことができ、縁の下のかもちとなる教員も児童の成長に喜んでいた。ただ、各学年の人数が少なすぎるため通常他校で行われている運動会ではなく鳴滝流運動会となり、その年の児童たちの色や性格にも関わるため読めないところが課題ではある。教職員たちにもチャレンジさせ、新しいことを取り入れたり精査したりし、教育に「これでよし」はないため、進歩させていきたい。 ・「学校運営協議会」を開くにあたって、授業参観を毎回見ていただくよりもいろいろな取組を見ていただきたい。また、委員の方々全員の出席がかなうようにもしたい。皆さんの意向をお聞きして日程調整すると優先順位が発生してしまい日程設定が難しい。
--

学校運営計画書(スクールプラン)の項目に合わせて、評価の項目を変更していただいてもかまいません。